



photo: 南明庵

A.L.Series 2006 vol.07 京都造形芸術大学通信教育部建築デザインコース 特別講義

京の建築的伝統

日向進

2007年1月12日(金)18:30-20:00 (開場18:00) 本学人間館NA-302

当日先着順・入場無料



主催:
京都造形芸術大学通信教育部建築デザインコース
お問い合わせ:
京都造形芸術大学
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
Tel. 075-791-9122(代表)
<http://kirara.cyber.kyoto-art.ac.jp/>

アクセス:
■バス
地下鉄烏丸線北大路駅より 市バス204系統
京阪出町柳駅より 市バス上総町3系統
京阪三条駅より 市バス5系統
阪急河原町駅より 市バス5系統・上総町3系統
JR京都駅より 市バス5系統
■電車
京阪出町柳駅より 叡山電車乗り換え
→ 叡山電車茶山駅より徒歩10分
※本学には駐車場がありません。車での御来場は御遠慮下さい。

大徳寺塔頭玉林院本堂の後方に、鴻池家の牌堂南明庵がある。南明庵は、仏堂風な意匠を備えたなかに、数寄屋造りを基調とした構えをみせ、左右に連なる茶室との調和が図られている。これら一連の施設は、実は異なる大工の手になるのだが、堂宮(南明庵)と数寄屋・茶室(蓑庵、霞床席)という建築の間にある落差を少しも感じさせることはない。南明庵を素材として、京都の伝統的な建築技術の世界をとりあげる。

日向進 略歴

1947年生まれ。京都工芸繊維大学大学院修士課程修了。現在、京都工芸繊維大学教授 工学博士。著書に、「近世京都の町・町家・町家大工」(思文閣出版)、「茶室に学ぶ」(淡交社)、「窓のはなし」(鹿島出版会)、「茶道学大系 六 茶室・露地」(共著、淡交社)、「京都町触の研究」(共著、岩波書店) 他。